



学校便り

H22年度—最終号

卒業生 55名が元気に巣立ちました

校庭の桜の花もようやくつぼみをふくらませはじめ、春本番を感じられるころとなりました。

さて、先日の3月23日（水）に、本校の第137回卒業証書授与式を多数のご来賓や保護者の皆様をお迎えして挙行することができました。

卒業生55名は、一人ひとりが自分の将来についての決意や希望を胸に、立派に巣立っていきました。今後とも地域の子どもたちとして温かな見守りやご支援をいただきますようお願いいたします。

学校評価について

昨日、先月末に実施させていただきました学校評価アンケートの結果まとめ等を配布させていただきました。

また、学校評議員の方々と育友会長に加わっていただいた学校関係者評価委員会を実施し、本校の取組等について、説明させていただき、併せてご意見をいただきました。

アンケート結果等でも、一定の評価をいただけた事柄や更なる取組の必要な事柄などが、いくらか明らかになりました。関係者評価委員会として、今後も学校が保護者をはじめとして、地域の方々のご協力を得ながら、地域の学校として、子どもたちの育成を図る取組を進めるようご意見をいただきました。今後も更なるより良い学校づくりを目指して取り組みを進めていきたいと考えております。

修了式での話

今朝、快晴のもと運動場で5年生以下の全児童がそろって修了式を行いました。

私からは、この一年間の自分の成長（できるようになったこと）の再確認と進級する準備等についてと3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）に関連して当たり前のように過ごしている豊かな毎日の暮らしについて、被災地の現状を考えながら「今、自分なりにできること、やれることは何なのか」考えたり、ご家庭でお家の方と話し合っしてほしいと子どもたちに伝えました。よろしくお願いいたします。

この一年間にいろいろな出来事もあったことと推察いたしますが、子どもたちは着実に成長しています。この1年間に保護者の皆様、地域の皆様に賜りましたご支援ご協力に深く感謝申し上げます。有り難うございます。

今後も、一年一年のお子様の成長が保護者の皆様のご期待に応えたものとなるよう職員一同努力していきたいと考えております。引き続きご理解ご支援のほどよろしくお願いいたします。（校長 濱田康助）

